

## 大和証券グループのCSR

## 大和証券グループのCSR

## 考え方・基本姿勢

大和証券グループは、投資家の資産形成や企業活動の支援といった日々の業務を通じて、社会および経済の発展に貢献するという重要な使命を担っています。

私たちが永続的にこの使命を果たし、持続的に成長するためには、企業理念にもとづくお客様・株主・社員、そして社会との強い信頼関係が必要不可欠であると考えています。

## 証券業の役割と社会的責任

大和証券グループの主要事業である証券業は、企業の設備投資や政府の公共事業などのための資金を調達したいというニーズと、個人や機関投資家、年金などの資金を効率的に運用したいというニーズを結びつけるという社会的役割を担っています。まず資金調達サイドにおいては、株式・債券などの有価証券の発行や証券化商品の組成などを通して、企業の設備投資や研究開発のための資金調達について、また国や地方自治体、国際機関・公共法人などの公共的な事業のための資金調達について、アドバイスや実行のお手伝いをしています。

また、資金運用サイドにおいては、個人や機関投資家・年金基金などのさまざまな資金運用ニーズに対して、お客様のおかれている状況や意向に沿った適切な投資情報の提供とアドバイス、そして多様な金融商品・サービスを総合的に提供します。

このように証券業は資金の需要と供給を主に金融資本市場を通じて結びつけることによって、円滑なお金の流れをつくり出し、お金という経済の血液の循環を促し、産業の発展や社会的課題の解決に役立っているのです。

## 社会的課題を金融で解決するための対外推進活動

企業や産業界はいまや持続可能な社会の実現にむけてきわめて重要な役割を担うようになっていきます。そして金融機関は主要業務である金融の機能を通じて、持続可能な社会づくりに貢献するという社会的使命を担っています。大和証券グループは公正で活力のある金融市場を維持・発展させていくことに加え、金融に社会的な視点を組み込み、持続可能な社会の実現に向けた資金の流れを促し

ていくことが私たちの役割であると考えます。大和証券グループは、この考えのもと、「国連環境計画・金融イニシアティブ」(UNEP FI) ※1に加盟、「責任投資原則」(PRI) ※2、「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」(CDP) ※3に署名し、国際社会の一員として、その役割を果たしていきます。2010年1月には、持続可能性と責任あるビジネスを約束する企業の政策形成のためのプラットフォーム

ム、国連グローバル・コンパクト※4に、日本国内の証券会社として初めて加盟しました。大和証券グループは、国連グローバル・コンパクトの原則にのっとり、事業活動を進めていきます。また、国連のミレニアム開発目標※5で掲げられた8つの目標な

どを念頭に、社会的課題の解決につながる商品やサービスの開発に努めていきます。



#### ※1 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)

国連機関である国連環境計画(UNEP)と、世界各国金融機関のパートナーシップ。金融業界が扱うお金が世の中に与える影響は大きいという認識のもと、環境と持続可能性(サステナビリティ)に配慮したもっとも望ましい事業のあり方を追求し、これを普及・促進することを目的としている。

#### ※2 責任投資原則(PRI)

国連機関である国連環境計画(UNEP)と世界各国の金融機関のパートナーシップ。環境と持続可能性(サステナビリティ)に配慮したもっとも望ましい事業のあり方を追求し、これを普及・促進することを目的としている。

#### ※3 カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)

気候変動に関心をもつ機関投資家が連携し、グローバル企業に対して環境問題への姿勢や取組みに関する情報開示を要求するプロジェクト。

#### ※4 国連グローバル・コンパクト

2000年、コフィー・アナン国連事務総長(当時)の提唱により国連に創設された国連事務総務会直結組織。企業のリーダーに国際的なイニシアチブであるグローバル・コンパクトへの参加を促し、国連機関、労働、市民社会とともに人権、労働基準、環境、腐敗防止の分野における10原則を支持するというもの。

#### ※5 国連ミレニアム開発目標(MDGs: Millennium Development Goals)

2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の加盟国代表が、21世紀の国際社会の目標として、2015年までに達成すべきとして掲げた8つの目標。